

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和3年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	高齢者の居場所づくり		
団体名	カフェはなかいどう (2019年12月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	146,490 円		
助成額(当初交付)	244,000 円	助成額(決算)	146,490 円
活動目的	高齢者対象のスマホ教室の開催。 日々需要が高まっているスマホであるが、高齢者は敬遠し勝ち。 定期的を開催することで、スマホに慣れ、コミュニケーションをとれるようになること。		

1 活動の実施状況

*実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

実 施 状 況	<p>2021.10.12 スマホ教室説明会(@下井草東部自治会館 参加者13名、ケア24・杉並社協より見学者あり)</p> <p>スマホ教室:毎月第4金曜日10:00~12:00(定員13名) 講師を招いての初心者向けスマホ講座 10/22 (13名出席) 11/26 (12名出席) 12/24 (11名出席) 1/28 まん延防止等重点措置実施につき中止 2/25 まん延防止等重点措置実施につき中止 3/25 (15名出席) 講師を依頼した「竹箒の会」及び民生委員の見学者あり</p> <p>スマホ復習サロン:毎月第2水曜日10:00~12:00(定員無し) 11/10 (9名参加) 12/8 (11名参加) 1/12 (10名参加) 2/9 まん延防止等重点措置実施につき中止 3/9 まん延防止等重点措置実施につき中止</p>

活動名	高齢者の居場所づくり
-----	------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>コロナ禍でスマホの需要はますます高まっている中、専門家に依頼し初心者向け講座を定期的で開催することができた。</p> <p>また復習サロンにて、スマホの使い方を通して交流が深めることができた。</p> <p>いずれも三密を避けられる会場を定期的に借りられたことは大きく、高齢者の居場所づくりを提供できたことは大きかった。</p>
-------	---

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

課題・活動予定	<p style="text-align: center;">活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定</p> <p>スマホ教室の実施は、昨年までの活動と異なる参加者を迎えることで、今後の活動・運営を考えるうえで大きなきっかけとなった。</p> <p>参加者の実態やアンケート結果などを考慮に入れ、人と地域とのつながりを大切にし、安定した活動を続けていきたい。</p>
---------	---

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳	
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	244,000	146,490	
	団体負担金			
	活動収入			
	その他の収入			
	計	244,000	146,490	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	高齢者の居場所づくり
-----	------------

費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
		うち 助成額		
謝礼金等	140,000		90,000	講師謝礼金(NPO法人竹箒の会) 減額の理由:まん延防止等重点措置実施により、予定回を実施することができなかったため
		うち 助成額	90,000	
備品・消耗品費	10,000			なし
		うち 助成額		
交通費				なし
		うち 助成額		
印刷費	10,000		10,000	チラシのデザイン・印刷代(Kunel/平井志野) 200部作成 (報告書に1部同封)
		うち 助成額	10,000	(領収書:2.印刷費)
通信運搬費				なし
		うち 助成額		
使用料・賃借料	56,000		36,000	東部自治会館 スマホ教室及びスマホ復習サロンの会場使用料 減額の理由:まん延防止等重点措置実施により、予定回を実施することができなかったため
		うち 助成額	36,000	(領収書:3.使用料・賃借料)
その他の経費	28,000		10,490	・スマホ復習サロン 学生ボランティアスタッフ交通費 ・コピー代 ・振込手数料 減額の理由:まん延防止等重点措置実施により、予定回を実施することができなかったため
		うち 助成額	10,490	
計	244,000		146,490	執行率 (決算額/予算額) 60.0%
		うち 助成額	146,490	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

支出

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかつ <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかつ <input type="checkbox"/> できなかった
	↓「あまりできなかつた、できなかつた」と回答した場合は理由を記入してください。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であつ <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかつ <input type="checkbox"/> 適切ではなかつた
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかつ <input type="checkbox"/> できなかった
	↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかつた」「できなかつた」場合は課題となった点を記載してください。
	ワクチンの予防接種等をきっかけに、スマホ活用の重要性に注目されるなか、助成金のおかげである程度の人数が集められる会場を使うことができた。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらな <input type="checkbox"/> 広がらなかつ	
↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。	
・大変役に立った	
・復習の時間を設けられておりとてもよかった。	
など。(詳しくは別添のアンケート資料を参照)	
問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。	
コロナ禍でますますスマホの重要性、活用に注目が集まっているが、敬遠しがちだった高齢者にも親しんでもらえる場が提供できたと思う。	
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
活動に十分な場所が提供できず、また活動資金も乏しく、団体の存続も不安だった。助成金のおかげで外部に会場を設け、定期的に活動を続けられることができた。	
その他	問8 自由意見

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和3年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	新たな出会いをつくる「お出かけ企画」		
団体名	荻窪遊ぼう会 (2016年10月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	0円		
助成額(当初交付)	100,000円	助成額(決算)	0円
活動目的	外出の際 脚に不安のある方にも”参加”の機会を創り、またその方々をサポートする新規サポーターも勧誘・参加する「お出かけ企画」を開催する。そして参加者同士の”出会い”から”知り合い”になるチャンスを創ることを目指します。		

1 活動の実施状況

実施状況	<p>今回は3回目の開催挑戦であり、今回こそはと年度末の3月の企画開催に向けて 11月の「ミニお出かけ企画」の開催や お出かけ企画以外の映画鑑賞会企画も定期的で開催し お出かけ企画のサポーターの確保にも努め 事前に「東京江戸博物館」の下見・貸し切りバスの手配・昼食場所の予約等準備を整えていたが 第六波のコロナ感染状況が収束せず 年度末の「お出かけ企画」は開催中止とせざるをえなかった。</p>

活動名	新たな出会いをつくる「お出かけ企画」
-----	--------------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>* 助成を受けての貸し切りバスを仕立てた「お出かけ企画」の開催は第6期コロナウイルスに因り開催を中止したので、本来の「お出かけ企画」にての成果はありませんでした。</p> <p>* この2年間のコロナ感染状況により集団での外出企画は2019年11月以来開催されてこなかったが、本来の「お出かけ企画」開催のプレ企画として2021年11月30日に大田黒公園に「ミニお出かけ企画」として紅葉を楽しむお散歩企画を実施、参加者7名とサポーターを含め 総勢13名が楽しみました。</p> <p>* また お出かけ企画以外で 昨年度より新企画としてはじめた「ゆうゆう荻窪館」にての「映画鑑賞会」は、4月・7月・1月と開催し 毎回20人から30人が鑑賞する集まりとなり 定期イベントとして定着させたい。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>* 来年度のお出かけ企画は、秋の”お散歩・ミニお出かけ企画”と 4度目の挑戦となるバス借り上げの”お出かけ企画”を検討したい。</p> <p>* 「映画鑑賞会」は、2か月に1度の定期開催企画として定着させたい。</p> <p>* また来年度も地域活動に楽しんで参加される方を増し また新たなサポーター仲間が集まってもらい、共に知恵を集めて”新たな企画”も立ち上げ 試みたい。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	100,000	2,181	チラシ作製費、郵送費
	団体負担金			
	活動収入			
	その他の収入			
	計	100,000	2,181	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	新たな出会いをつくる「お出かけ企画」
-----	--------------------

費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
		うち 助成額		
謝礼金等	85,000			お出かけ企画 開催中止により 決済額 0円
消耗品費	6,000			お出かけ企画 開催中止により 決済額 0円
旅費 ・交通費	0			
印刷費	5,000		1,811	11月に「ミニ出かけ企画」のための A-4チラシ ¹⁰⁰ 部を作製・配布した。
			1,811	
通信運搬費	2,000		370	郵送費(レターパック 1通)。
			370	
使用料・賃借料	0		0	
			0	
備品費				
その他の経費	2,000			お出かけ企画 開催中止により 決済額 0円
計	100,000		2,181	執行率 (決算額/予算額) 2.2%
			2,181	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

支出

活動名	新たな出会いをつくる「お出かけ企画」
-----	--------------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	実施できず
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	できなかった
	↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	春の”お出かけ企画”は年度末の3月に企画していたが、新型コロナ第六波が収まらず開催を中止した。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。
	少しできた
	↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	*当初予定の春の”お出かけ企画”は中止せざる負えなかったが、秋のミニ”お散歩企画”の開催と別企画の「映画鑑賞会」を3回開催し 新たな参加者 及び新規サポーターを得ることができた。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	少し広がった
	↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
*ミニ”お散歩企画”の開催や「映画鑑賞会」の開催し、新たな参加者 及び新規サポーターを得ることができ、また毎月開催することとなったサポーターが集まり情報交換する「連絡会」にも新たな参加者が加わり新たな企画の立ち上げを検討しています。	
問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。	
* 荻窪遊ぼう会の連絡会活動及び新企画の開催により、新たに参加された高齢者及び新サポーター(ボランティア)の発掘ができた。	
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
問8 自由意見	

その他

みんなの様々な”やりたいことの種”を出し、どうやったら芽が出せそうか知恵を集め 具体的にデザインしてみて 企画が開催可能であれば まず試しにやってみる、そんなかたちで「新企画」を今後とも発掘・開催してゆきたい。

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和3年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	主に若年性認知症の当事者、介護家族への介護等支援		
団体名	陽だまりの輪 (2021年7月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	200,083 円		
助成額(当初交付)	200,000 円	助成額(決算)	209,376 円
活動目的	1. 若年性認知症当事者の外出・交流支援。 2. 若年性認知症者の介護家族への症状進行度に応じた悩み・不安の相談。 3. 介護家族の心身のストレス緩和。 4. 地域に潜在する当事者・家族への参加呼びかけ。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>2021年7月10日しらさぎ桜苑にて設立総会開催し会長及び役員が決まる。車送迎11名</p> <p>2021年8月14日コミュニティふらっと馬橋にて第1回交流会開催14名参加</p> <p>2021年9月11日小金井公園江戸東京たてももの園にて第2回交流会開催・16名参加・車送迎10名</p> <p>2021年10月9日高円寺北区民集会所にて第3回交流会開催・17名参加・車送迎4名</p> <p>2021年11月13日高円寺北区民集会所にて第4回交流会開催・19名参加・車送迎3名</p> <p>2021年12月11日中部すこやか福祉センターにて第5回交流会開催・24名参加・車送迎8名</p> <p>2021年12月15日中野区桃園区民活動センターにてカフェ陽だまりの輪開催・30名参加</p> <p>2022年1月8日コミュニティふらっと馬橋にて第6回交流会開催・17名参加・車送迎8名</p> <p>2022年1月19日中野区桃園区民活動センターにてカフェ陽だまりの輪開催・14名参加</p> <p>2022年2月12日高円寺北区民集会所にて第6回交流会開催・14名参加・車送迎0名</p> <p>2022年2月16日中野区桃園区民活動センターにてカフェ陽だまりの輪開催・9名参加</p> <p>2022年3月12日高円寺北区民集会所にて第6回交流会開催・15名参加・車送迎3名</p> <p>2022年3月16日中野区桃園区民活動センターにてカフェ陽だまりの輪開催・7名参加</p> <p>2022年3月19日鮮や一夜 中野北口駅前店にて食事会・13名参加</p>
	<p>交流会では 相談コーナー・自己紹介、本人組と家族組に分かれて、本人組はレクリエーション中心、家族組は1ヶ月間の状況報告、悩み事の相談に対し専門家や経験者からのアドバイスをしています。 また車椅子の方や長距離歩行困難の方が参加しやすいように送迎を実施しています。</p> <p>カフェ陽だまりの輪では 相談コーナー・手作りコーナー・お喋りコーナー等に分かれて実施して若年認知症の啓蒙活動をしています。</p>

活動名	主に若年性認知症の当事者、介護家族への介護等支援
-----	--------------------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>助成金の活動報告として、〈若年認知症のご本人とご家族をささえる為に家族会としての役割と実施方法とその成果〉</p> <p>①月一回の交流会は中々参加出来ない方、短い時間中で十分に話せず悩みや解決法が見いだせないのが現状です。会として、ご家族の悩みを傾聴する時間を別に設けて「ささえる」手段にしました。</p> <p>7月に設立してから3家族の方が別枠で相談コーナーとしてお話しをする事が出来ました。</p> <p>2月16日施設をお借りし2時間、3月2日電話、3月17日行政の方も関わり交流会、電話、ラインなどでそれぞれ悩みを話しメンバーからアドバイスや激励などを受けながら少しずつ前進しています。</p> <p>ご家族の感想は、胸の使いが取れました。慌てないで進みます等の感想を頂きました。</p> <p>②相談を受けるメンバーは行政、ケアマネ、看護師、経験のあるご家族です。</p> <p>③個人情報を守りつつ、内容を共有し今後も実行して行きます。</p> <p>正会員28名 賛助会員14名 合計40名が会員になっています。</p> <p>新たに杉並区在住と中野区在住の若年認知症の方がそれぞれ一家族ずつ入会されました。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>交流会へ参加しやすいようにと車の送迎を企画しましたが、利用者の把握及び車の手配等様々な問題点がありました。車については福祉車両キャラバンが借りられることになり解決しました。</p> <p>あとはドライバーの確保がつぎの問題点です。</p> <p>通常の交流会の他つぎのような企画を予定しています。</p> <p>日帰り散策 5月14日(土)日 HANA BIYORI</p> <p>特別企画 6月11日(土)ヴァイオリン演奏</p> <p>特別企画 8月27日(土)バーベキュー</p> <p>一泊旅行 10月15日(土)～16日(日)</p> <p>その他の月は通常の交流会</p> <p>カフェ陽だまりの輪は毎月第3火曜日に実施。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳	
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	200,000	195,603	
	団体負担金			
	活動収入	220,000	217,000	正会員(28名)94,000円 賛助会員(12名)65,000円
	その他の収入		58,000	寄付(3名) 58,000円
	計	420,000	470,603	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
			うち 助成額	
謝礼金等	30,000	9,000		爪ケア マッサージ マッサージ
			9,000	カフェの会場が決まらず実施ができなかった為
備品・消耗品費	23,000	103,136		ワンタッチ封筒 朱肉スタンプ台 代表印 ゴム印 クラフト封筒 コピー用紙 クラフトシール クラフト封筒 アクリルパーテーション カードホルダー エプロン代 カードホルダー 救急セット 体温計 トナー代
			103,136	始めたばかりでどの程度必要か分からなかった為
交通費	60,000	67,870		介護タクシー レンタカー ガソリン代 送迎代 送迎代 介護タクシー 介護タクシー 送迎代
			67,870	
印刷費	5,500	9,270		名刺 リーフレット代
			4,790	
通信運搬費	19,160	10,380		切手 往復葉書 切手 切手 葉書
			10,380	
使用料・賃借料	24,000	14,200		会場使用料 会場使用料 会場使用料 会場使用料 会場使用料 会場使用料
			14,200	会場が決まっていなかった為
その他の経費	58,290			
計	219,950	213,856		執行率 (決算額/予算額) 97.2%
			209,376	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

支出

活動名	主に若年性認知症の当事者、介護家族への介護等支援
-----	--------------------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input checked="" type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的な内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 始めたばかりの活動でしたのでなかなか何にどのくらい必要かが予想できませんでした。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 2月16日施設をお借りし2時間、3月2日電話、3月17日行政の方も関わり交流会、電話、ラインなどでそれぞれ悩みを話しメンバーからアドバイスや激励などを受けながら少しずつ前進しています。 ご家族の感想は、胸の使いが取れました。慌てないで進みます等の感想を頂きました。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	家族会だけでなく行政や地域包括を含めてみんなで支えられるようになった。
	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
他の施設利用者がカフェに立ち寄り認知症について関心を持っていただけるようになった。	
その他	問8 自由意見
	初めての助成金の為どの様な使い方ができるのか分からなかった。 もう少し具体的な使い方の例があるとよかった。